

Offshore⁷ 1988

社団法人 日本外洋帆走協会発行 No. 160/300円

昭和63年7月15日発行(毎月1回15日発行) 昭和52年7月21日第三種郵便物認可



'88 KENWOOD CUP
個人エントリーの「NINJA」
撮影：添畑 薫
提供：舵社

'88 KENWOOD CUP

参加艇紹介

いよいよ、7月30日の第1トライアングルレース(27M)を皮切りに、1988 KENWOOD CUPの幕が切っておとされる。第2トライアングルR.(7/31, 27M), モロカイレース(8/1, 150M), 第3トライアングルR.(8/4, 27M), 州一周レース(8/7, 725M)と、51隻の精鋭レーサーがホットな闘いをくりひろげることであろう。本号では、日本から参加の各艇・各チームを紹介したい。

また、現地ハワイでは参加日本艇の合同練習デモ

ンストレーションが7月27日10:00より行われ、油壺ベイヨットクラブ主催の日本チーム招待オーナークルーパーティがKaneoheヨットクラブにて開催される予定である(同上パーティの問い合わせ先は、イリカイホテル内、〈摩利支天〉の坂東、アウトリガーホブロン内、〈青海波〉堀内、または油壺ベイヨットクラブ東京連絡所(株)清田工業内 ☎03-661-1078まで)。

写真提供：関東広報委員会

ナショナルチーム BLUEチーム

〈TOGO X〉
〈海太朗〉
〈SLEEPER〉
☎〈摩利支天〉



2333 〈TOGO X〉 西宮

RATING : 34.95f LOA13.445 × BMA 4.025 × DM2.376 設計：O. TAKAI

おもな戦歴：'87ミキモトジャパンカップ…総合15位
オーナー：山田東吾(チームキャプテン)

クルー：寺山紘史☎, 山田知二, 梶本元, 桜井慎也,

黒川健一郎, 田中浩, 神影隆一, 八島徹, 小川達, 岩野住之, 溝渕栄, 藤田英児, 鈴木基師, 足立桂三, 松浦英利, ヤンス・クリステンセン, 三船清治, 菊池誠, 高井理



3290 〈海太郎〉 葉山

RATING : 30.50f LOA12.111 × BMA3.851 × DM2.213 設計 : B.K.FARR

おもな戦歴 : '87 ミキモトジャパンカップ…総合2位, '88 初島レース…総合1位, 関東フリート対抗…艇別5位

オーナー : 千葉育夫

クルー : 戸谷寿男⑤, H・シュローダー, 秋山良雄, 池本孝徳, 石井克己, 大川雅士, 桑原俊太郎, 古家恒昌, 桜庭豪, 城崎輝久, 杉崎信之, 本間博一, 松崎浩一, 綿貫克美



355 〈SLEEPER〉 油壺

RATING : 32.64f LOA12.713 × BMA × 4.313 × DM2.279 設計 : NELSON/MAREK

おもな戦歴 : '85 SORC Clas IV … 2位, '86 KENWOOD CUP…clas 2位総合5位, '87 関東フリート対抗…総合2位, 鳥羽パールレース…着順2位, '88 初島レース…総合優勝, 関東フリート対抗…艇別2位

オーナー : 武部喜一⑤, 大野はじめ, 石田幸博

クルー : 川島正通, 中村寛, 周東英郷, 小谷周三, 亀田尚祐, 早川浩一, 政井悟, 小山亮, 山口一郎, 増田元男, 増山高教, 榎本和幸, 保科由弘, 星野啓太, 豊田力, 福戸淳司, 倉田峰一, 佐藤倫彦, 高島太郎, 山岸雅仁

注目のスーパーマキシ ニュー〈摩利支天〉



設計：NELSON/MAREK

おもな戦歴：'84 パンナムクリッパーカップ…リタイア（チャーター艇で参加）、'85 トランスパック…clas 7位 F 37位、グアムレース…リタイア、'86 ケンウッドカップ…clas 2位 F 25位（日本参加艇8隻中4位）、グアムレース…clas 1位 F 1位、'87 トランスパック…clas 5位 F 23位、グアムレース

…clas 1位 F 1位

オーナー：武田勝彦

クルー：羽柴宏次⑤、八木達郎、高橋良寿、若田部洋、池田正、中里秀一、中野智治、畠中正人、服部一良

ナショナルチーム REDチーム 〈青海波〉 〈MATENROW〉 〈カラス〉⑤〈美美〉



3660 〈青海波〉 油壺

RATING：30.48f LOA12.133×BMA3.923×DM 2.282 設計：NIELS JEPPESEN

おもな戦歴：'85初島卯月レース…総合22位、初島レース…総合23位、関東フリート対抗…艇別16位、油壺-伊東親善レース…11位、'86 サムタイムカップ…総合27位、初島レース…総合31位、関東フリート対抗…艇別27位、江ノ島-清水レース…総合8位、'87 関東サムタイムレース…総合17位、大島レース

…総合18位、江ノ島-清水レース…総合2位、ミキモトジャパン…総合10位、小網代カップ…3着5位、'88 初島卯月レース…総合7位、大島レース…総合22位、初島レース…総合9位、関東フリート対抗…艇別16位

オーナー：清田博（チームキャプテン）

クルー：赤川信男⑤、山内真人、西田正行、西原雅行、山本久司、米田敏也、栗山博行、松田均、賛田直樹、秋山肇、白井誠、佐藤裕、戸叶幹男、安達泰秀



3705

〈MATENROW〉

シーボニア

RATING : 30.82f LOA12.166×BMA
4.058 × DM 2.219 設計 : I.
YOKOYAMA

おもな戦歴：'87 大島レース…総合2
位，関東フリート対抗…艇別4位，
'88 大島レース…総合4位，初島レ
ース…総合8位，関東フリート対抗…艇
別4位

オーナー：杉山直行

クルー：朝河清，田沼英明，小河憲二，
横山一郎，杉山俊三，加藤享，高橋伸
博，小川弘，飯田博，西岡昌章，北川
正俊，石橋善博，松本進，大関健司，関幸
史，宮田達彦，入江一憲，井上玲，原崎孝
幸，酒井美可，金田浩二，村松哲太郎

3800 〈カラス〉

油壺

RATING : 30.79f LOA11.758 × BMA
3.775 × DM2.289 設計 : O. TAKAI

おもな戦歴：'84 JAPAN BIG BOAT…
総合9位，'85 初島卯月レース…総合12
位，'87 関東フリート対抗…艇別3位，
'88 関東フリート対抗…艇別10位，初島
レース…総合11位，大島レース…総合27
位

オーナー：斜森保雄

クルー：竹内誠，本吉譲治，磯貝均，高橋
喜久夫，中村隆彦，佐藤守利，上田健吾，
水上悦男，鈴木博卓，阿部善章，中野誠，
二階堂隆，高月映司，増田順一，堀江正
明





3135 〈美美〉 広島

LOA13.1×BMA4.206×DM3.56

おもな戦歴：'85 アリランレース…総合20位，'86 ケンウッドカップ…総合29位

オーナー：金井準一（チームキャプテン）

クルー：金井寿雄㊦，田内敬三㊦，永沼勝也，胡田浩佐，小笠原徹，三原倫正，宮本英明，浜本久志，穂本慎一郎，三浦勝行，立川敏章，小山悟，寺岡昭雄，山内義典，上原正勝，竹内幸一郎，大野礼子，寺内規公美，永井誠，金井裕

NORCチーム 〈美帆〉〈美美〉〈TOGO X〉



3521 〈美帆〉 広島

RATING：31.37f LOA12.410×BMA4.146×DM2.269 設計：I.YOKOYAMA

おもな戦歴：'86 関西ビックボート…総合6位，オレンジカップ…総合46位，'87 関西ビックボート…総合2位，ミキモトジャパン…総合7位

オーナー：濱田茂治

クルー：寺廻富夫㊦，小玉淳一，宮本健之亮，国美正教，富山康弘，中村善直，八尾明則，宮木秀彦，田村治久，脇坂敬二，西埜誠，貝道盛考，武盛文彦

他に〈美美〉〈TOGO X〉

油壺ベイヨットクラブ

〈摩利支天〉(ナショナルチーム BLUEチーム予備艇)

〈青海波〉(ナショナルチーム REDチーム)

〈SLEEPER〉(ナショナルチーム BLUEチーム)

個人エントリー



〈MAGIC〉

(萩野禎武オーナー, 高井理設計, R30. 48f, LOA11. 85)

〈NINJA〉

(西田隆太郎オーナー, L.K. DAVIDSON 設計, R33. 95f, LOA13. 399f, 表紙写真)

〈カトマンドゥ〉

(石坂氏を中心としたグループのマキシボート)

〈CHANPOSA V〉

(アメリカからのエントリー)

(盛田正敏オーナー)

〈MAGIC〉

《'88 KENWOOD CUP 参加予定艇リスト》

- ◎オーストラリア: ソパリン; ウインドワード・パッセージ; ラガマフィン; グレート・ニュース・バンガード; ビヨンド・サンダードーム; サガシアス; ワンス・ア・ジョリー・スワグマン; アルティメイト・チャレンジ; ベンチャー I
- ◎イギリス: ヨーマン X X VII; インダルジェンス; ジュノー
- ◎ニュージーランド: エモーション・レスキュー; マッド・マックス; ハイローラー
- ◎イタリア: イル・モロ・ド・ベネチア
- ◎ブラジル: ブラック・ジャック
- ◎フランス: エマローデ
- ◎西ドイツ: ピンタ
- ◎アメリカ: ブラブーラ; ジュビレーション; チャンボサ; インサティアブル; キアロア; マタドール; マウナ・ラニ・フラッシュ; ウイターホーク; ケイン・ファイア; オンディーヌ; コンゲア; ソーサリー; ジュケラル・ホスピタル; ブロンディー; カゲンツァ; ビクトリー; ライオン・オブ・ニュージーランド; クインテセンス; カモフラージュ; プリマ; マベリック
- ◎日本: ニンジャ; 青海波; カラス; 海太朗; マテンロウ; 美帆; 美美; スリーパー; 摩利支天; トーゴ X; マジック; カトマンドゥ



CHALLENGE NEWS



出場一覧

Sail No.	YACHT	SKIPPER	NATION
US-46	Nippon	Gary Jobson	日本
J-2	Bengal III	Skip Lissiman	日本
D-2	Holger Danske II	Valdemar Bandolowski	デンマーク
G-7	Maid of '88	Uwe Mares	西ドイツ
K-25	Crusader '88	Eddie Owen	イギリス
KA-15	Kookaburra III	Peter Gilmour	オーストラリア
KA-14	Steak'n Kidney	Phil Thompson	オーストラリア
S-5	New Sweden	Olle Johansson	スウェーデン
US-42	Royal Blue	Pelle Pettersson	スウェーデン
KA-12	Nordstjernan	Dennis Conner	アメリカ

MATCH-RACING SEMIFINALS

(準決勝得点表)

YACHT	SAILNo.	X	R	S	M	Y	I	O	A	TOTAL
Kookaburra III	KA-15	X		1	1	1	1	1	1	7
Bengal III	J-2	R	0		1	1	0	1	1	5
New Sweden	S-5	S	0	0		1	1	1	1	5
Crusader '88	K-25	M	0	0	0		0	1	1	3
Nordstjernan	KA-12	Y	0	1	0	1		1	1	5
Steak'n Kidney	KA-14	I	0	0	0	0	0		1	2
Holger Danske II	D-2	O	0	0	0	0	0	0		0
Nippon	US-46	A	0	0	0	0	0	0	1	1

※同一ポイントの場合は、同一対戦カードで勝った方が上位に、同一対戦カードでも判断出来ない場合は、フリートレースで成績上位の艇が上位にランクされます。

ミッドナイト・サン・カップ・ルレオ1988 12M級世界選手権は、ルレオ・ヨットクラブ、ミッドナイト・サン・カップ1988財団の主催により開催されたもので、参加艇は7カ国10艇で、6月23～26日に予選が、27～30日に準決勝が、7月2日に決勝が行なわれ予選は出場する10艇がいっせいに競うフリートレースで、全6レースの結果による得点上位8艇が準決勝へと進出し、準決勝は、各艇が他の7艇と1戦ずつ戦うマッチレースによって争われ、得点上位2艇が決勝へと進む。

ニッポンチャレンジでは、アメリカのニューヨーク・ヨットクラブ所有の12m級ヨット〈アメリカII〉(US-46)を〈Nippon〉に化粧直しをして参加した。

〈Nippon〉は予選8位と大苦戦をしいられ、その夜ボートスピードを上げるため、徹夜でキールの改造を試みての準決勝進出となった。しかし、残念ながら1勝をあげたのみで7位に終わってしまった。

決勝は、オーストラリアから出場の〈KOOKABURRA III〉と日本から出場の〈BENGAL III〉とで、7月2日に争われ、2-0で〈KOOKABURRA III〉が優勝した。

マリガランテ ついに鴨池港に入港



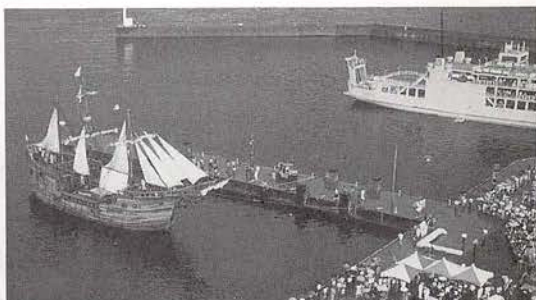
綿江湾を鴨池港に向かって進む〈波切大王〉とマリガランテ



あいさつをするアルサル船長

前号で紹介したメキシコの帆船「マリガランテ」は予定通り6月25日鹿児島県に入港し、アルサル船長以下クルー達は熱烈な歓迎を受けた。鹿児島市民は常日頃桜島の降灰に悩まされているが、この時代を超越した夢を運んで来たガレオン船に一時の清涼感を求めた市民は、なんと5日間で3万人にもおよんだ。同船には地球人宣言の名のもとに、平和を題材とする美術品を集めた小ギャラリーがもうけられている。ここには中央に人間が手を取りあって形づくった大きな地球儀が、この船の航海を象徴するように据えられている。それをとりかこむようにならべられた作品は、サルバドール・ダリのような大家のものから、若い無名の作家の力作、さらに楽しいのは、各国の子供達の作品もどろどろと飾られていることだ。狭い階段を下りてこの落ち着いた雰囲気ギャラリーをおとずれた市民達も多かった。これらの様子はテレビでも全国に紹介された。

さて「マリガランテ」は市民の名残りつきない見送りを背に、次の寄港地である南西諸島の喜界島をおとずれた。ここではまた極めてアットホームな歓迎を受けた。3日間で3000人の来船者を数えたが、この地は我が国でも有数の長寿地域で、御老人が多いのが目立った。この地でクルー達は島民達とソフトボールの

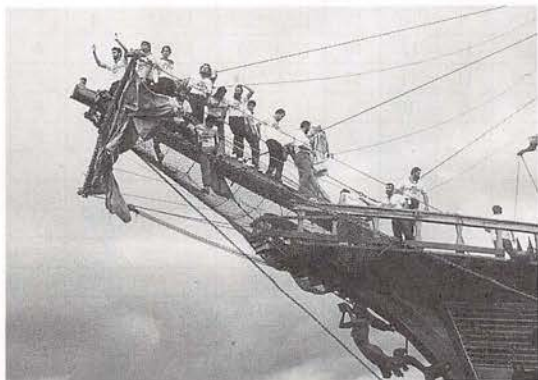


6月25日鴨池港での入港セレモニー

対抗試合を行ない、親善を深めた。また小学生達はそれぞれの平和への思いをこめた絵を持ちより、同船にプレゼントした。これには船長以下クルー一同は大喜び。さっそくギャラリーに並べたのは言うまでもない。

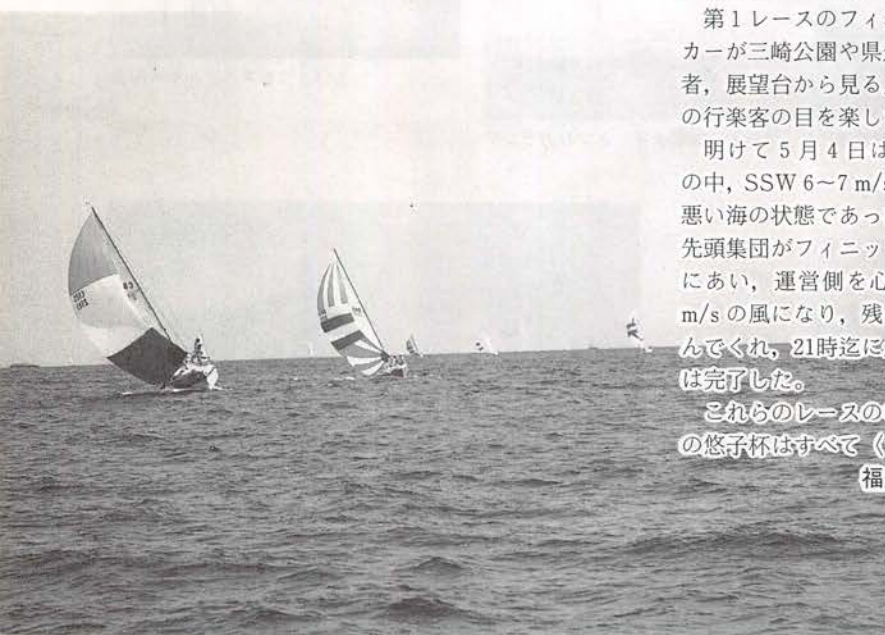
島民はまた、遠来の客にこの地の伝統芸能舞踊の「六調」を披露したが、踊りも最高潮に達すると、クルー達もその輪の中に加わった。クルー達にとって、おそらく生涯忘れられない思い出を心にきざんだことだろう。そして、「マリガランテ」は次の寄港地である徳之島に向った。その後、7月6日に徳之島を出港、名古屋に向けて列島を北上する予定だ。ここまで来れば我がNORCの鳥羽パールレース、スタートおめえも真近だ。名古屋では海の記念日の祝典に参加。メキシコシティの市長から名古屋市長へのメッセージの伝達(両市は姉妹都市)などさまざまな行事をこなす予定だ。

なお、同船の日本海域の航海には〈SDC 波切大王〉が先導役として同航している。こちらは御存じ村本信男氏が乗りこんでいる。昨年のメルボルン大阪ダブルハンドレース優勝以来、久方ぶりに水を得た〈波切大王〉の勇姿もまた我々の眼を楽しませてくれるだろう。



へさきにせいぞろいして鴨池港に集まった人々に手を振るクルー達

いわき市長杯 福島県小型船安全協会10周年記念 70年国体誘致決定記念 マリーナ早期完成祈願



4つのタイトルをあげて、5月3日、4日の2日間に小名浜港沖三角コース及び小名浜大洗間の外洋ヨットレースを行なった。

5月3日の小名浜港沖レースの第1レースは、SSE 5~6 m/s の風で、第2レースは、風がSに変わり、5~9 m/s と増したが、順調にレースは推移した。

第1レースのフィニッシュはカラフルなスピナーカーが三崎公園や県道からよく見え、車を止めて見る者、展望台から見ると折からのゴールデンウィークの行楽客の目を楽しませた。

明けて5月4日は、朝6時40分、4~5m のうねりの中、SSW 6~7 m/s の風で、小名浜港沖をスタート。悪い海の状態であったが、日立沖から波もおさまリ、先頭集団がフィニッシュした後、17時半頃からカームにあい、運営側を心配させたが、20時頃 NE 10~12 m/s の風になり、残っていた艇を全部大洗港に吹き込んでくれ、21時迄に全艇無事フィニッシュし、レースは完了した。

これらのレースのいわき市長杯とファーストホームの悠子杯はすべて《シーズン》が獲得した。

福島県外洋帆走協会会長 松井利簡

艇名	艇長名	小名浜港沖レース								小名浜大洗間外洋ヨットレース			
		第一レース (風速 5~6 m/s)				第二レース (風速 5~9 m/s)				(風速 5~9 m/s)			
		所要時間	到着順位	修正順位		所要時間	到着順位	修正順位	総合順位	所要時間	修正時間	到着順位	修正順位
1 シーズン	横内	1 ^h 16 ^m 30 ^s	1	1		1 ^h 15 ^m 02 ^s	2	2	1	10 ^h 28 ^m 30 ^s	10650	1	1
2 アスガード	佐藤	1 ^h 19 ^m 19 ^s	3	5		1 ^h 14 ^m 25 ^s	1	1	2	10 ^h 33 ^m 00 ^s	10920	3	2
3 プーメラン	岡	DSQ	15	15		1 ^h 16 ^m 47 ^s	3	4	7	10 ^h 31 ^m 58 ^s	11078	2	3
4 ハッピーハッカー	今井	1 ^h 33 ^m 13 ^s	9	7		1 ^h 39 ^m 33 ^s	13	14	12	13 ^h 16 ^m 40 ^s	17748	6	4
5 バイブレイヤー	岡山	1 ^h 29 ^m 40 ^s	6	11		1 ^h 27 ^m 00 ^s	8	10	13	12 ^h 53 ^m 23 ^s	18551	4	5
6 卑弥呼	青野	1 ^h 33 ^m 37 ^s	10	8		1 ^h 36 ^m 32 ^s	12	12	10	13 ^h 38 ^m 05 ^s	18945	7	6
7 チャブチャブ	松本	1 ^h 35 ^m 09 ^s	11	7		1 ^h 35 ^m 28 ^s	11	11	11	13 ^h 40 ^m 58 ^s	19118	8	7
8 アドニス Jr	伊藤	1 ^h 36 ^m 01 ^s	4	10		1 ^h 28 ^m 50 ^s	5	8	8	13 ^h 58 ^m 55 ^s	19491	9	8
9 ホライズン	三森	1 ^h 26 ^m 15 ^s	12	3		1 ^h 25 ^m 02 ^s	9	3	3	13 ^h 08 ^m 55 ^s	20055	5	9
10 デバイス II	高田									RET			
11 ベラズルー	日向寺									RET			
12 ベルセウス	高橋	1 ^h 49 ^m 00 ^s	13	13		1 ^h 58 ^m 02 ^s	15	15	14	RET			
13 パバリヤ	安藤	1 ^h 30 ^m 13 ^s	7	12		1 ^h 25 ^m 33 ^s	7	7	9	RET			
14 セーレン	大塚	1 ^h 30 ^m 30 ^s	8	6		1 ^h 24 ^m 47 ^s	4	5	5	RET			
15 テークファイブ	吉田	1 ^h 28 ^m 06 ^s	5	2		1 ^h 32 ^m 29 ^s	10	6	4	DNS			
16 飛輪	村田	DSQ	15	15		1 ^h 39 ^m 45 ^s	14	13	15				
17 ストーマイマンディ	落	DNF	14	14		DNS	16	16	16				
18 S 号	四家	1 ^h 19 ^m 18 ^s	2	4		1 ^h 25 ^m 05 ^s	6	9	6				

葉山 チャリティー ヨットフェスティバル



お招きしたお客様達

さる6月12日(日)、小雨に煙る葉山マリーナのポンツーンで、日頃あまり見慣れない風景が在りました。ポンツーンの通路には、オレンジや赤のはでなオイルスキンのクルー達が、4～5M置きに整然と並んでいて、その前を一行に、ビニールの薄いカップを頭からかぶった子供達とお母様方が、ポンツーンの3艇のクルーザーのクルー達に、手を引かれたり、抱きかかえられる様に艇に乗り込んで行きました。時々楽しい笑い声や歓声がここ迄聞こえて来ました。ここは葉山マリーナの「チャリティーヨットフェスティバル」の会場です。

これは葉山港管理事務所の福谷清氏から助言を頂き、当地の障害者の方々と、そのお世話をなさっているボランティア活動グループ「フランク会」、ご父兄、先生他、計68名をお招きして開催された、葉山マリーナのオーナーや、葉山港あぶずりのヨットマン達を中心としての集いです。

日頃はレース艇として活躍している黄色いハルの〈ゼアドラー〉(42F、オーナー、堀内滋彦氏)。この日の為にシーボニアから愛艇〈ハーフタイム〉(35F、先月、東京～小笠原レースで総合1位に輝いたばかりです)で乗りつけた、NORCの理事で、現在、海軍思想普及委員長の朝河清氏。そしてこのチャリティー実行委員長である山田直朝氏の艇〈エンゲルボーン〉(30F)が先程の見学艇です。

施設の先生方と、実行委員の指示に従い、順序よく10～15名ずつ、喜々としてかけ寄って乗船してくる



手助けをするクルー達

方々に対し、ヨットマン達は、さすがに機敏に颯爽とアテンドし、丁寧に質問に答え、船の機能について説明していました。ご招待のお客様達は、ヨット乗船が多分初体験でしょう。各艇に割りふったはずのお客様達でしたが、次々と船に興味を重ねてか、〈ゼアドラー〉を見終えると〈ハーフタイム〉に、〈エンゲルボーン〉にと3艇に乗船なさる方が多く、待っている方達に順番が回って来ません。イベント広場前では、葉山港あぶずりを泊地とするヨットマン達が、真に驚くべき手際の良さと味付けで、バーベキューメニューを供してゆきます。その鮮やかな手さばきときたら、お招きしたお客様達ははじめ、葉山のヨットマン達をも絶句させるお見事さでした。その妙なる香りが漂う12時頃、待ちに待った楽しいバーベキューパーティの始まりです。協賛企業から提供されたグリコカフェゼリーやグレープフルーツ、アサヒビール等もたっぷり。この主旨に賛同して、かけつけて下さったプロの司会者、西田有里さんの巧みなリードでのゲームでは、日頃無愛想なヨットマン達と障害者の方々が入り交って、楽しそうにジャンケンしたり、もらった賞品をうれしそうにかかえる様子は、とてもほのぼのとして、雨が降っているのも忘れる程でした。特別協賛でご参加いただいたコスモ石油グループヨットクラブ提供の消火器や化粧品、電動クリーナー等をはじめ、ジョンソン&ジョンソン(株)のベビーシャンプー、浅田飴のハーブキャンディー、津村順天堂のバスクリン、各航空会社提供の



あざやかな手さばき？！

航空バック、Tシャツ、航空券他、日清食品のカップヌードル、逗子の〈ナイスフェロー〉のオーナー、新藤伸人氏個人の提供によるサンリオ製品等が贈られてゆきます。(協賛各社の敬称略、順不同) また、数々の賞品寄贈以外に、コスモ石油(株)グループをはじめとする有志のヨットマン達からの義援金を差し上げる事ができました。毎日、障害者のお世話をなさっている葉山の地域作業所「はばたき」の大西園長、ご父兄の優しい瞳から涙が浮んでいたよう記憶しております。

前後して恐縮ですが、数日後、ご招待したお客様達からお言葉を頂戴しましたので、2、3ご披露したいと思います。

「障害者は、養護学校や義務教育を終えても家庭に居るしかなく、近年その人達の為に作られたのが、地域作業所です。信じられない程、外へ出る機会はなく、先日のように、ヨットハーバーに招かれるなど遙かに理解を越えます。理想は、弱者に、皆様の持ちうる時間の万分のいちでいい、分かち合ってくれたなら……」

(指導員、景山克三氏)。「僕は、景山先生と、ヨットを見学したり、カメラの人が写真をとってくれたりして、バーベキューも食べました。ラジオ放送のお姉さんと、ジャンケンしてパーで負けました。ヨットのおじさん達が、僕に手をかしてくれて、お母さんと葉山マリーナがきれいなところでかんげきしました。僕はとてもうれしかったです。」(岡村博さん、38歳)。「私達フランク会は、幼稚園の母親グループで、細々とボランティア活動が続けて7年間、この様な優しいおもてなしを受けたのは、結婚以来初めてです。これをご縁に、この様な愛の輪が広がりますよう……」(フランク会、加藤夫人)。「艇の中にもぐり込むと、ベット、炊事場と見事に整っている。話を聞き、質問したり、海の男の一部を垣間見る事ができ、またヨットマンの優しく障害者を助ける力強い手、腕にふれ、皆嬉しそうでした。焼きたてのおそばやおもてなしに、胸がキューンとなりました。いつも負けるものかとおつつ張って生きて来ましたが、もっともっと頑張らねば……」(はばたき母の会代表、佐藤昌子さん)他。



楽しそうに遊ぶゲスト達



実行委員長の山田直朝氏

実行委員長である山田直朝氏は(株)博報堂にお勤めで、今年の夏もハワイで開催されるケンウッドカップヨットレースを始め、数々のイベントを手がけてこられた方ですが、こういう善意のボランティアイベントについてのご苦勞をお伺いしたところ、「別に…世の中の為になればとか、そんな気負った気持ちで始めた訳ではありません。それよりむしろ、今迄こういった事に全く関心が薄かった自分に気がついて、何だかとても恥ずかしい気がします。」と小声でつぶやいていらしたのが印象的でした。

フィナーレも近付き、山田実行委員長から挨拶があり、挨拶します。

「葉山マリーナ、葉山港あぶずりや、湘南各地に泊地する28艇のヨットマン諸氏は勿論の事です、このお話を持ちかけて下さったあぶずりの福谷清さん、また、この進行をずっと立ちっ放しで見守って下さった、葉山マリーナのハーバースター渡会部長、睡眠時間もうろくろく取らず、地道な裏方として尽力された事務局局長であり、〈クーベラ〉のオーナー、藤沢武司さん、多忙な中あちこちの企業や(株)日本青年会議所に出向いて、協賛金や、商品を集めて下さった〈ゼフィール〉のオーナー、戸塚由理恵さん(記者本人なのですが、良いのかしら、こんな事書いちゃって?)、コスモ石油(株)グループの皆様方からも多大な商品と、義援金を頂戴し、また、今年の夏ハワイのケンウッドカップに出場なさる油壺の〈青海波〉のオーナー、清田博氏(油壺ベイヨットクラブ議長)からも沢山の賛助金を頂きました。できる限りこのチャリティーを続けてゆきたいと思います。皆様ご協力を真にありがとうございます。」

参加した誰もが、良い事をできたという心境を反映してか、堂々と迫力のある閉会の辞でした。大拍手と笑顔の輪が広がります。皮肉にも、イベントが終わる頃には雨も上がり、青空が顔をを出していました。

お客様達が帰られたマリーナで、後片付けをするヨットマン達、ヨットウーマン達の晴々とした顔は、とても魅力的だった事を、ご報告申し上げます。

(Offshore 誌記者 戸塚由理恵)

新生フリート紹介

「逗子フリート」

編



熱っぽく将来を語る逗子フリートキャプテン井上一典氏

湘南、湘南海岸といえばヨットマンは無論の事、一般の人達にとっても、太陽と海、勿論ヨット、甘く、すっぱり、明るく、けだるい青春のイメージが、パーと大脳にひらめく程、余りに有名な所です。日本でのヨット発祥の地域であり、その成長をはぐくんだ背景に、石原慎太郎運輸大臣の小説あり、故石原裕次郎氏あり、加山雄三氏の映画あり歌あり、サザンオールスターズありで、皆様ご存知の通りです。東京から約1時間という距離も手伝ってか、青春のイメージは現代の若者達に引き継がれ、春から夏の終わり迄、葉山、逗子、江ノ島周辺に至る一車線通行の海岸道路は常に渋滞。沖合いにはヨット銀座にふさわしく、何ばいもの白い帆をすべらしたヨットが行きかい、カラフルなセールを力いっぱい引きこんで、ウィンドサーフィンが帆走します。のろのろとしか進まない車窓をのぞくと、大方は、幸福そうな男女のまなざしが熱く、そんな湘南の海になげかけられていて、青春している彼らに対し、恋人もいなくて、寂しく独身している者には、ひょ〜に羨しい雰囲気なのであります。だいたいのおデートコースのハイライトに立ち寄るのがヨットハーバーであり、人気コースの最大手が、本日ご紹介申し上げる逗子マリーナです。

鎌倉の材木座商店街を抜ける飯島地区は、かつて磯の香り漂う閑静な住宅街でした。

各シーズン出航可能な飯島は、以前からディンギー置場として多くのディンギーが置かれていましたが、近年ウィンドサーフィンも加わり、狭い道路は往来する若者達で大変混雑しています。その先のトンネルを抜けると、かつては山路から飯島の磯と、鎌倉時代の築港遺跡、和賀江島、小坪港が見えた所でした。今、このトンネルを抜けると地中海の海岸線に出くわしたような錯覚にも似たエキゾチックな光景に目を見張ります。飯島の鼻の岬沖に、埋立てによって造成された5万坪の敷地には、赤い瓦に白い壁のイタリア、スペイン調のマンションが立ち並び、地中海沿岸を思わず想像してしまうリゾート区域なのです。すすく天に向かって、太陽を浴びるワシントンア種の椰子が整然と植えられ、この南欧風の酔い心地をいやがおうで

も盛り上げています。敷地内には、1145室のマンション他、ボーリング場、レストラン、プール等の附属施設があり、夏の最盛期には4000余名のリゾート人口を形成します。ハーバーは、陸地7000坪、海面3000坪の広さに、150隻のモータークルーザー、60隻のヨットが陸置きされています。昭和46年6月、第一期の造成工事が完成した当時は、ポンツーン、クレーン、水深とも外洋クルーザーには不十分で、伝統ある葉山や湘南のメッカ、江ノ島の間に挟まれていながら、ヨットの基地としての逗子の名は殆どセイラーに知られていませんでした。大改築後、保管制限が20fから39fになり、従来から保管されていた艇のサイズアップラッシュが始まりました。置権を所有していながら、他のハーバーに愛艇を保管していたオーナー達が艇と共に続々と逗子に帰ってきて、逗子マリーナヨットクラブ(ZMYC)が結成され、クラブレースの開催を通じ会員相互の親睦が計られてゆきました。イベントとして、フィノカップや湘南サマタイムカップ等も逗子で行なわれています。NORC関連では、第25回鳥羽レースに〈エレクトロン〉(YR30)が総合優勝、昨年は〈OTSHOSAN〉(YOK32SR)が、江ノ島〜清水、神子元の両レースに総合優勝、又、〈サエラ〉が年度末を飾り、小網代カップに総合優勝する等、最近の活躍には目覚ましいものがあります。少し残念な事は、現在60隻に達するヨットが逗子に在るのにもかかわらず、NORCの会員艇が10隻と少ない事です。

その辺の事情をフリートキャプテンの井上一典氏(OTSHOSAN、オーナースキッパー、逗子マリーナヨットクラブ会長)に、お尋ねしました。「逗子は従来葉山フリートに属していたのですが、逗子から葉山迄の海上には、カブ根という難所があり、沖出しの大回りをしなければならず、思いの他時間がかかります。その為、地域的には名門葉山フリートに新興逗子の各艇が寄留させていただくような感がありました。昨年あたりからNORCのレース、STC等に逗子所属艇の参加が多くなるにつれ、自然発生的に、民族主義意識が目ばえ、各オーナー顔を会わすたびに、逗子のフリートを持ちたいという話もち上がり、ここに誕生した

という訳です。これを機にNORC 会員艇を増やしてゆきたいと思います。」と熱っぽく語られ、又、フリートの将来展望について、「小坪港を中心として逗子地区には、小坪マリーナ、逗子マリーナが在りますが、周辺は浅瀬が多く、十分安全とは言えません。今、ミドルボート中心に構成されている逗子ですが、もっと水路を整備し、設備を拡充して、オールラウンドのハーバーになってほしいと思います。又、外洋レースの世界では、艇の大型化が進んでいますが、ミドルボート愛好家達の為にも喜んで参加できるオフショアレースの実現を計ってゆきたいものです。」と真面目な口調で語られていました。

取材中、関東フリートの対抗戦が行なわれていましたが、逗子マリーナの〈サエラ〉(X $\frac{3}{4}$ 、沼田尚文オーナー)、〈写楽〉(YR 34、熱田二士行オーナー)、〈OTSHOSAN〉(YOK 32S)のミドルボートで、チームを組み第2位となりました。

逗子マリーナ、フリートキャプテン井上一典氏他、メンバーの夢実現を期待しようではありませんか！

取材当日、相模湾の青い海には白波が立ち、どこまでも晴れ渡った空に強風波浪注意報が告げられる夕方のハーバーには、そんな逗子フリートのヨットマン達の夢の実現を知ってか知らずか、デート中の男女が幾組も金網ごしに近寄って来ます。湘南の海と、何故か出航していないヨットの群れをととても羨しそうに眺めながら、このムードを借景しているように見受けられました。

(Offshore 誌記者 戸塚由理恵)

第16回 阿波踊り ヨットレース

スケジュール

8月13日 10:00~17:00	出艇申告受け(シマンライク)
17:00~	艇長会議
19:00~	阿波踊り
8月14日 8:00~	阿波踊りレーススタート (15:30 タイムリミット)
17:00~	表彰式、パーティ
19:00~	阿波踊りで街へ Let's GO!

問い合わせは、徳島ヨットクラブ(0886-25-3700)まで尚、8月13日に「NORC 徳島フリートレース」「J24 AWAODORI CHAMPIONSHIP」「J 29第1回全日本選手権」も同時開催されますので奮ってご参加下さい。

第5回 JAPAN-GUAM ヨットレース

“真冬から真夏へ”のキャッチフレーズでおなじみの JAPAN-GUAM レースが第5回目として開催される予定です。実施要項は現在企画中です。

興味をお持ちの艇、参加してみようと思われる艇、また再度挑戦しようとする艇、是非、ご一報下さい。説明会は9月5日(月)を予定しています。追って8月号に正式に詳細を載せます。

スタート予定：S 63年12月30日(金) 於、油壺沖
連絡先：NORC 事務局 ☎ 03-504-1911 矢嶋まで

石原裕次郎 メモリアルヨットレース '88

裕次郎さんが好きだった湘南の海に、また夏がやって来ました。今年も、8月の最終日曜日に、メモリアルレースを開催します。夏の掉尾を飾る、恒例としてにぎやかに楽しみたいと思います。

実施要領は下記のように決まりました。皆様、ぜひともセーリングカレンダーにマークしていただき、ふるってご参加下さいますようお願い致します。

実施要領

主催／日本外洋帆走協会 関東支部
協賛／大塚製薬
協力／油壺ベイヨットクラブ
ジャパン・ゲーム・フィッシング・アソシエーション
参加資格／NORC クルーザーレーティングと、有効な船検を所有する艇。
開催日／8月28日(日)

スタート／10:00 タイムリミット／17:00
レースコース／油壺沖をスタート、江ノ島沖と葉山沖に設置したブイを回航、油壺沖に戻るトライアングル。詳細は、帆走指示書に従って当日のコミッティボートが指示する。

賞／石原裕次郎杯、その他

表彰式と懇親パーティ／会場…油壺ベイヨットクラブ
カクテルタイム…17:00~
表彰式…18:00~

参加料／一般¥3,000 (パーティ代含む)

参加受付／NORC 事務局

受付締切日／8月19日(金)17:00

委員／実行委員長……武田勝彦
レース委員長……古川保夫

注：クルーザーレーティングの取得はまだ間に合います。ご希望の方は、早目に、関東支部 CR 委員会までご連絡下さい。

第2回 関東支部CR合同委員会

出席者 武田勝彦, 石井竹彦, 服部一良, 沢地繁, 鈴木利夫, 三井健一, 鎌田匡夫, 木庭康, 井上一典, 沼田尚文, 田村研

当日, 17時から鳥羽レース実行委員会が開催された為, 武田, 石井両委員がCR委員会から出席し, 今年度の鳥羽レースに於けるCR艇の出艇条件等の説明がされた。

メジャラーの質的向上の為の勉強会の世話役だった別府委員がメジャラーを辞任したが, あらたな人選はしないことにした。

今後については, メジャラー, 及びCR委員合同でCR委員会を開催していくことになった。

これまで一回も開かれていなかった勉強会を近く開

催する。

以上の討議の後, 4月2日に開催された本部計測委員会CR部会で決定した'88年度ルール改正点(内容については, オフショア5月号に林賢之輔本部計測委員長より発表されている)及び, 新計測証書について石井委員より細かな説明が行われたのち, 質疑応答がなされた。

本改正ルールが7月1日からの本部レース, 関東支部レースに適用される為, 6月中旬迄に取得艇全艇の新計測証書を作成し, 6月末迄に各オーナーに渡る様に。各フリート毎の名簿も作成する。矢嶋君だけでは無理なので全員で協力する。

計測についての技術的なことその他不審な点は, 石井委員長に問い合わせること。

新登録艇の紹介

セール番号, 艇名, 帆装, フリート, 全長×水線長×巾×吃水, オーナー名, その他の順☆印は会友艇

2328 フレドリカ ヤマハ33 横浜, 根岸 10.17×8.20×3.35×1.90 土井貫一郎/艇名の由来: 小説家ロバートAハインラインの作品の中から気に入った女の子の名をもらいました。/抱負: とりあえず鳥羽パールレースに参加してみたいと思います。/NORCへの要望: レーサーばかりではなく, 一般のクルーザーが楽しく走れるようなレースも計画していただきたいと思います。

2640 サンビーム2 スループ 小網代フリート 10.0×?×3.4×1.9 中村正三郎/艇名の由来: 旧青海波を清田オーナーからゆずりうけ, 艇名をサンビーム2に変更したもの。/抱負: かつての小笠原レース優勝艇でもあり, 今後, 機会があれば各レースに出場し, 頑張ってゆきたい。/クルー: 商社, 航空会社, 保険会社, 薬品会社, ステンレス問屋, 建設会社, 等各種業界で活躍する中年サラリーマン族がメイン。

3135 美美 B. ファー43 広島海楽園 13.1×11.0×4.206×3.56 金井準一/艇名の由来: オーナー宅にいるベルシャ猫の名前からつけたもの。/抱負: 若いクルーをどんどん育て, 積極的に海外レースに出てみたい。とりあえず今年で3回目出場のKENWOOD CUPに上位入賞をねらっています。/クルー: 金井寿雄, 小山悟, 穂本慎一郎, 永沼勝也, 小笠原徹, その他12名

3877 GUANDALINA スループ シーボニア 9.35×8.2×3.25×1.35 嘉悦康人/艇名の由来: 私立女子短大ヨット部の所有艇ですので, 女らしく読みやすい名前ということで, イタリアの女性の名前で昔から多く使われている“GUANDALINA”と名付けました。/抱負: ヨット部員全員初心者ので集まりですので, 航路さだまらず, ご迷惑をかけると思いますが, 青葉マークの乙女に免じて, やさしい言葉をお願いします。/クルー: 部長—小沢美弘, 副部長—星ひろみ, 主将—小島裕子, 副主将—小池輝美, 主務—小田紀代子, 会計—児玉明子

2967 HOLIDAY YOK-29 シーボニア 880×700×290×170 馬目徳男/抱負: レースもクルージングも和気あいあいとやっていきたいと思っています。

3018 D'S HEART デヘラー34 浦安 34.3×28.3×11.2×4.9 内藤恒夫/艇名の由来: ドンキーゲイルより変身しました。デーズハートとはドンキーズハートの略です。

OFFSHORE 第160号 昭和63年 7月15日発行
毎月1回15日発行
昭和52年 7月21日 第三種郵便物認可
1部定価300円(郵送料45円)

発行 社団法人 日本外洋帆走協会
東京都港区虎ノ門1-15-16(船舶振興ビル4階)
電話・東京03(504)1911~3 〒105
郵便振替番号2-21787
印刷 正進社印刷株式会社

走り、どこまでも、とぎすまされて。



鮮烈デビュー

Y-R30II

L.O.A 8.99m · BEAM 3.22m · DRAFT 1.823m

DISPL 2.80ton · BALLAST 1.30ton

SAIL AREA 43.40㎡ · I.O.R.R. (about) 23.0feet

※数値はすべてケブラー®サンドイッチ仕様のもので。

OFFSHORE No.160

昭和52年7月15日発行(毎月1回15日発行)
第三種郵便物認可

オールラウンドな走りて評価の高いY-R30が、生粋のレーサーとして一新。長く狭い水線面形状とシャープなエントランスアングル、大きなセイルエリア、水槽テストによりエリアを最小限に抑えた新形状キールなど、あらゆるぜい肉をそぎ落とし、強風時はもちろん特に軽風時の帆走性能をどこまでも高めました。その走りはミドルボート全日本選手権1988での総合優勝ではやくも証明されています。さらに、幅広のビームとクルーによるスタビリティの向上、クルーワークがしやすい広いコクピットと、エクステリアは走りを最優先。そのうえで、ハル構造はコアマット仕様、GRPサンドイッチ仕様、そしてケブラー®サンドイッチ仕様の3タイプを用意。インテリアも、チーク材を使用し居住性を重視したオーソドックスな仕様と重量の中央集中化をはかったアグレッシブな仕様を用意しました。とぎすまされた走りに徹するか、くつろぎをも両立するか。お好きなアレンジでどうぞ。



YAMAHA-R SERIES

	Y-R30II	Y-R34II	Y-C35cs	Y-RFARR40
L.O.A	8.99m	10.40m	10.60m	12.19m
BEAM	3.22m	3.35m	3.35m	3.99m
DRAFT	1.823m	1.90m	1.90m	2.29m
DISPL	2.80ton	3.70ton	3.95ton	5.76ton
BALLAST	1.30ton	1.80ton	1.80ton	3.39ton
SAIL AREA	43.40㎡	50.03㎡	45.73㎡	73.66㎡
I.O.R.R.(about)	23.0feet	25.0feet	25.45feet	30.5feet

●Y-Rシリーズは基本仕様をベースに、お客様の要望により、仕様の変更、レーシング対策などをお打合せの上で建造いたします。
●なお、シリーズ名以外の記載も受けいたします。※ケブラー®は、米国デュポン社のアラミド繊維の登録商標です。

FOR GOOD MARINE LIFE! 安全がマリンスポーツの基本です。

■天気予報を確認して、無理のないセーリングを。■法規やマナーを守りましょう。■立入禁止水域や船舶航行の頻繁な水域は避けましょう。■点検・整備を忘れずに。■乗船前に、免許と法定備品の確認を。■漁業者に迷惑をかけないようにしましょう。
●カタログご希望の方は、宛名・雑誌名を明記のうえ、宣伝課まで。●ヤマハ発動機株式会社 〒438 静岡県磐田市新貝2500

●ヤマハ製品についてのお問い合わせ
北海道ヤマハ㈱……………☎011-612-1060
ヤマハ東北㈱……………☎022-235-1031
ヤマハ東京㈱……………☎03-444-9971
ヤマハ中部㈱……………☎052-913-2121
ヤマハ関西㈱……………☎06-535-1671
ヤマハ中国㈱……………☎082-285-4911
ヤマハ四国㈱……………☎0878-67-3800
ヤマハ九州㈱……………☎092-472-5261

NIPPON CHALLENGE
AMERICA'S CUP 1991わたしたちはニッポンチャレンジ
アメリカ杯1991を応援しています。